

就職につながる 「IT分野の職業訓練（求職者支援訓練）」を受講しませんか

就職活動に生かせる様々な訓練コースがあります

受講料無料

初心者OK

就職支援充実

就職に役立つ資格取得



就職率

62.3%

男女別受講割合

男性 64.5%
女性 35.5%

年齢別受講割合

10～20歳代 41.8%
30～40歳代 49.3%
50～60歳代 9.0%

(数字はすべて令和元年度実績)

訓練修了生の声

未経験者
でも大丈夫

訓練が始まって最初の頃の授業で、「なぜこのIT技術が使われるようになったのか」や「IT業界のトレンドの移り変わり」などのITに関する全体像の勉強から入ったので、その後の授業で出てくるJavaやRPA（Robotic Process Automation/ロボットによる業務の自動化）が実際にどのような場面で活用されているのかをイメージしながら勉強できたのが良かったです。また、訓練を受講したことで、IT業界で働くために何を学んだらいいのか、どのような資格が必要なのかを知ることができたのも良かったです。

(RPAプログラミング科（訓練期間3か月）修了生)

他業種
からの
転職も

プログラミングについて全く分からないところから、4か月という短期間で沢山のことを教えて頂けたこと、また、その機会を頂けたことに感謝しています。講師の方には、キャリアコンサルティングを通じて、自信を失いそうになった自分の背中を押して頂いたことに感謝しています。

(基礎から学ぶプログラミング科（訓練期間4か月）修了生)

託児

サービス付き
のコースも

※ 訓練コース例は裏面をご覧ください

▶ 受講の申し込みはハローワークへ！

- 要件を満たす場合、**求職者支援制度の生活支援の給付金（月10万円）**を受けながら、訓練を受講することができます。
- 訓練開始前から、訓練期間中、訓練終了後まで、ハローワークが就職活動をサポートします。

[所在地・連絡先]



求職者支援訓練



[制度の詳細]



- 受講料はテキスト代などの実費を除き無料です。
- 受講者の方、お一人につき一台、パソコンをご用意しています。
- IT分野等の民間資格等の取得を目指すひとり親の方には、要件を満たす場合、**高等職業訓練促進給付金**を支給します。詳しくは、お住まいの都道府県・市区町村にご相談ください。

IT分野で働くには
どんなスキルが必要？

IT分野で働くうえで、プログラミング言語の習得は非常に重要です。コンピューターは、あらかじめ用意されたプログラムの内容を読み取ることで動作しますが、このプログラムの作成作業を「プログラミング」といいます。プログラミングにおいては、コンピューターが読み取り可能な言語を使う必要がありますが、この言語を「プログラミング言語」（例：Java、Python、PHP、JavaScript）といいます。プログラミング言語を習得し、プログラミングができるようになると、スマートフォンアプリやWEBアプリの開発などが可能になります。

訓練コース例

コース	・スマートフォンアプリケーションプログラマー養成（Java言語）科 ・WEBアプリケーションプログラマー養成科 ・ソフトウェアプログラマー養成（Python言語）科 ・ネットワークエンジニア科 など
内容	ハードウェア、ソフトウェア、プログラミング言語などの知識を学びます。ソフトウェアの構造設計や、基本設計書に基づいたソフトウェアの開発ができることを目指します。 コースによっては機械学習やAIなどを学びます。
目指せる資格試験	・PHP技術者認定試験 ・Oracle Certified Java Programmer ・Javaプログラミング能力認定試験 ・基本情報技術者試験 など
就職先	WEB開発会社、ソフトウェア開発会社、ソーシャルゲーム会社 など

IT分野で働くには
資格を習得すべき？

IT分野では、各種IT関連サービスの提供にあたって必要とされる能力の指標（ものさし）として経済産業省が策定した「ITスキル標準（ITSS）」が活用されています。この、ITスキル標準には、7段階のレベル（レベル1～レベル7）が設定されています。
求職者支援訓練を活用してITスキル標準に対応する資格試験に合格しておくと、就職・転職活動において有利にはたります。求職者支援訓練では、IT分野の訓練コースの約6割が、ITスキル標準「レベル1」以上の資格試験の合格を目指す訓練内容（令和2年度実績）となっています。

具体的にどのような
資格があるの？

ITエンジニアの登竜門として一般的に挙げられるのが、情報処理の促進に関する法律に基づき経済産業大臣が実施する国家試験である「基本情報技術者試験」です。こちらは、ITスキル標準において「レベル2」に対応します。
令和2年度の受験者数は約5.3万人、合格率は約48%となっています（独立行政法人情報処理推進機構「情報処理技術者試験統計資料」）。

- IT分野以外にも、事務分野、デザイン分野、介護・医療福祉分野、理容・美容関連分野など、希望職種に応じた様々な訓練コースがあります。
- 育児等と両立しやすい、訓練期間が1か月未満や、1日の訓練時間が3時間程度の短期・短時間特例訓練コースもあります。
- 託児サービスの利用が可能なコースもあります。
- オンラインによる受講が可能なコースもあります。

各地域の求職者支援訓練の募集案内はこちら

